

令和6年 **7** No.214

	3
社协	だより

目 次

۰	志木市児童センター・宗岡子育て支援センター・・・	2
۰	たんぽぽ生活応援隊	3
۰	令和 5 年度決算報告、事業報告 ·······4 ·	5
۰	迷惑電話防止機能付き電話機の購入補助	6
	福祉車両のレンタカー料金の補助	
	福祉機材の貸出	
۰	夏のボランティア体験プログラム「福祉学園」…	7
	家族介護者交流事業	
	活動紹介 ······	8





和気あいあいとお話しする、たんぽぽ生活応援隊利用会員(右)と協力員(左)のおふたりです。詳しくは 3ページに掲載しています。



社会福祉法人 志木市社会福祉協議会

〒 353-0001 志木市上宗岡 1-5-1 (総合福祉センター 1 階) ☎ 048-485-1177 FAX 048-475-0014









X (Twitter)

acabook #-//

利用料金は 無料!

土日 祝休日 もあるべる!

志木市児童センタ

0~18歳未満のお子さんと保護者が おもちゃや運動遊びなどを自由に 楽しめる場所です。

宗岡子育て支援セ

就学前のお子さんと保護者、妊婦さんが 気軽に集まり、遊びながら交流の輪を 広げる場所です。

※詳しいご利用方法は下のQRコードから各ホームページをご覧ください。

4 1

◆小学4年生の声

いろいろな人と遊べてとって も楽しいです!

好きな遊びはベイブレード・ マット運動・ボルダリング・卓 球です!

マンガもたくさんあっておす すめです!

◆ 0 歳ママの声

週1~2回遊びにきています。子育て 支援センターのある総合福祉センター には図書室もあるのでよく立ち寄って います。

同じくらいの月齢の子がたくさんいて、 成長の具合を知ることができて安心で

きますし、職員のみな さんとも気さくにお話 できます!



◆3歳・0歳双子ママの声

しょっちゅう利用しています! 子どもの様子を見ながら職員の方に 相談できるのがいいところです。特に 1人目の時には心配事が多くて、幼 稚園での出来事などを相談していまし た。それから、双子用のベビーカーを

乗せることができ るエレベーターが あるのも助かって います。



涼しい部屋で"たくさん遊しまう! 一年を通してたくさんのイベントを開催しています!

児童センター

なかよしえほんルーム

ボードゲームやぬり絵、 工作、たくさんのマンガが 楽しめます!



宗岡子育て支援センター

あそびの広場 9時30分~16時30分

就学前のお子さん専用のお部 屋で、ゆっくりと過ごせます。

※日曜日は通常の利用形態と 異なる場合があります。



児童センター

プレイルーム

ボルダリングや大きな マットなどで遊べます。 卓球もできます! (卓球は小学4年生から)



テラス

プラズマカーや竹馬、 なわとびなどの遊具で 体を動かして遊べます。 ※天候や気候により利用 できない場合があります。



相談できます

子育てのことや保護者自身のこと、学校や友人関係のことなどお気軽にご相談ください。

志木市児童センター

2 048 (485) 3100

利用時間 月曜日~日曜日 9時~17時



宗岡子育て支援センター「ぽけっと」

2 048 (485) 3102

利用時間 月曜日~日曜日 9時~17時



休 館 日 年末年始ほか 毎月1回 月曜日(利用時間が異なる日があります)

ところ 総合福祉センター3階(上宗岡1-5-1)

駐車場あり







イベント情報などを いち早くお届け!

地域の支え合い

たんぽぽ生活応援隊

「たんぽぽ生活応援隊」では、市民のみなさまの日常生活の困り ごとを軽減し、ご自宅で安心して暮らし続けられるよう、家事援 助を中心とした生活応援活動を市民相互の協力により実施してい ます。協力や利用のきっかけと実際の活動の様子について、協力 員と利用会員それぞれの声をお届けします。



利用会員

腰部脊柱管狭窄症のため歩く のが苦痛になったので、ケアマネ ジャーさんの紹介で社協のたんぽ ぽにお願いしたのが始まりです。

週1回、最初は食料品のお買い物をお願いして いましたが、今では部屋やトイレ、台所の掃除な どを毎回行っていただいています。

お願いしてからもう1年以上になります。親子 気分で接しています。たんぽぽさんには感謝感謝 です。

協力員



これまでたんぽぽ生活応援隊のボランティアを 何件か経験しましたが、みなさんとても楽しみに してくださるので、やってよかったなと思えて、 生きがいになっています。自分より年上の利用者 さんが頑張っている姿を見ると、私も頑張ろうと

思えて励みになって います。希望される

ことがすべてできるわけではないです が、ちょっとした「こうして欲しいな」 という希望をかなえてあげたいなと 思っています。



利用会員

腰痛で高いところの掃除が難しくなって、 たんぽぽを利用し始めました。

月に1度お願いしていますが、台所の換気扇 のフィルター交換や、お風呂の換気扇の掃除などとても きれいにしてくれて。本当に働き者で助かっています。



協力員

人の役に立つことがやりた くて活動を始めました。高い ところの掃除など、集中力的

にも1時間が限度だなと思いますが、やり終 わったあとはとても充実感があります!



利用会員

産後、手伝ってくれる人 がいなかったので、助産師 さんからたんぽぽ生活応援 隊のことを聞いてお願いす ることにしました。協力員

さんが来てくれてめちゃくちゃ助かっています。はじめは、片 付けを手伝ってもらうことが、申し訳ないなと思っていました が、今は安心して甘えさせてもらっています。

私も2人子どもがいて、同じような

サービスを使ったこと がありました。ありが たかったなと思い、自 分でもできることがあ ればと始めました。自 分の家にいるだけでは なく、外で活動ができ ることがいいですね。



協力員

募集たんぽぽ生活応援隊の協力員として活動しませ

ヘルパーなどの資格を持っていない人でもできる活動をお願いしています。また、有償のボランティア活動であるため、 1時間800円の利用料をいただき、協力員には全額を協力員費としてお渡ししています。普段からしているお掃除、自分 が得意なこと、好きなことを地域貢献につなげていきませんか?

たんぽぽ生活応援隊について詳しく知りたい方は、QRコードを読み込んでいただくか電話にて お問合せください。 問合せ 地域福祉担当 2048(474)6508



年齢・性別・資格は



令和 5 年度決算報告 事業報告

近年の少子高齢化の進行や人口減少、住民相互のつながりの希薄化など、社会環境の大きな変化により、「8050問題」「育児と介護のダブルケア」「ヤングケアラー」「引きこもり」「社会的孤立」といった福祉や生活への課題は多様化・複雑化しています。

昨年5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、さまざまな制約が解除されたことにより、社会・経済活動は急速に回復しつつあります。しかしながら、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰など市民を取り巻く生活環境が一層厳しさを増す中で社会福祉協議会には、時代の変化に合わせた地域づくりの中核的役割を担うことが期待されています。

また、大きな被害をもたらした令和6年能登半島地震など近年、自然災害が全国各地で頻発する中、災害時に備えた支援 体制づくりも重要となっています。

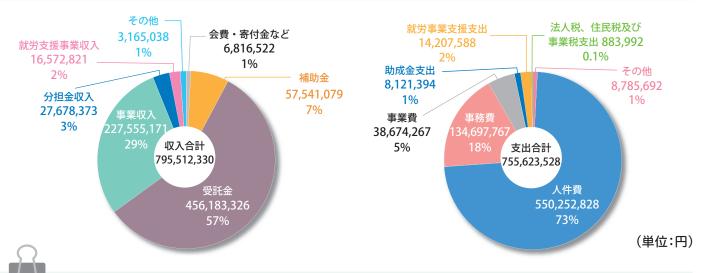
このような中、令和5年度の事業運営にあたっては、第5次志木市地域福祉活動計画の「みんながつながり、安心して自分らしく暮らせるまちの実現」の理念のもと多様な福祉活動を展開してまいりました。

また、「つながり」の再構築を目指して、ボランティア活動や地域福祉活動を推進するとともに、各事業所においては、福祉サービスの適切な提供に努め「地域共生社会」の実現に向けた様々な取り組みを実施しました。

さらに複雑かつ多様化する地域福祉課題に応え、身近な地域で気軽に相談することができ、円滑に福祉サービスを受けることができるよう、様々な連携を進め、きめ細かな相談・支援活動を展開してまいりました。

決算報告及び事業報告の全ページはこちらからご覧いただけます。▶







就労準備支援事業

生活困窮者自立支援事業のひとつで新たに市から受託しました。人間関係に不安がある人、しばらくの間働いていなかった人などに対して、日常生活のサポート(日課づくり)、社会生活のサポート(講座やワークショップ)、就労に向けたサポート(ビジネスマナー講座、就労体験など)を行いました。講座や体験をとおして、参加者と一緒に考え、就労に向けた準備ができるように支援しました。

担当者

地域福祉課 基幹福祉相談センター

さまざまな理由でここ数年から10年以上就労していない方たちが就労に一歩踏み込むための手助けになればという講座です。講師の方々はそれぞれの分野で経験、知識共に豊富な方たちです。参加者の皆さんは講座を経験するごとに自身の言葉で発信され、将来を見据えた考え方をもってくださる様子です。また、講座だけではなく、就労体験で現場作業も経験できます。興味のある方は、ぜひ一度講座をのぞいてみてください。



長寿えがお課

避難行動要支援者個別避難計画

志木市では、災害に備えるために避難行動要支援者個別避難計画の作成を柏町1、2、6丁目から開始しました。介護支援専門員や 相談支援専門員が取り持ち、利用者、家族、福祉サービス提供事業所などの関係者を集め、担当者会議にて個別避難計画書を作成し防 災の意識づけを図りました。また、近年増加傾向にある生活困窮世帯、認知症利用者や看取りケースなどに対して、関係各所との連携 によりスピーディな対応を心掛けました。

長寿えがお課 居宅介護支援事業所

志木市では介護支援専門員などの福祉専門職が支援して個別避難計画を作成しています。担当する利用者 様の自宅に訪問して、「避難に必要な物品等の準備をどうするか」「どのように避難をするか」「避難の手助け になる方はいらっしゃるか」などについて、具体的に確認をさせていただきました。災害への不安が高まる昨 今ですが、計画を立てることで避難をすることに対するイメージを持っていただき、少しでも安心につなが ればと考えています。





ふれあい交流課

福祉センター・第二福祉センター

2か所の福祉センターは、65歳以上 の元気な高齢者のための憩いの場で、 一人ひとりの体力などに合わせて参加



できる体操事業をはじめ、教室事業、サークル活動、イベント を開催しています。また、来館したついでにスマホ操作などを 身近に相談できる「スマホちょこっと相談」を設置しました。

福祉センターでは前年比5,778人増の延べ22,474人、第二 福祉センターでは2,080人増の延べ25,576人の利用がありま した。

担当者

ふれあい交流課 第二福祉センター

職員一同、皆さんに安心して利用いただけるよう努めてまいり ますので、今後もふれあいの場、生きが いの場としてご活用いただき、新たな趣 味や仲間を増やしていただけたらうれし いです。

65歳以上で市内在住の方は無料、土・日 曜日、祝休日もご利用いただけます。



就労継続支援B型/障がい者通所施設(多機能型事業所)

き、月平均で210,000円を超える売り上げを出すこ

食堂「ひまわり」ではコロナ禍で減収していた売上げが回復し、一日 の売上平均が25,000円を超えました。クッキー製造の「東館」もイベ ントでの販売、ギフトや町内会での手土産用等多くのご注文をいただ

とができました。内職や清掃作業 を行う「クローバー」も新たな仕事 を受注し、平均工賃月額も昨年度 より2,405円アップの20,218円に することができました。





担当者

ふれあい交流課 障がい者通所施設

近隣の公園や市役所トイレの清掃作業を利用者さん中心に行ってい ます。それぞれが使命感を持って一生懸命取り組んでおり、作業をして いると地域の方から「がんばってね」とお声をいただくこともあり、それ

が大きな励みとなっています。これからもこの地 域で活動する一員として、みんなで心を合わせ取 り組んで参ります。

クローバーでは清掃、内職、軽作業等お仕事を お受けしています。お気軽にご相談ください。

2 048 (486) 1880





こども未来課

宗岡地区放課後志木っ子タイム体験プログラム

放課後志木っ子タイムでは、地域の人を市民先生として招き、体験プログラムを定期的に開催し ています。体験プログラムの内容は、フラダンス・空手など体を動かす活動から、ハンドメイド・折 り紙などじっくり集中して取り組む活動まで、バラエティに富んでいます。宗岡地区の4施設で全 138回、延べ4,443人が参加し、多くの児童がさまざまな体験を通して市民先生から学び、交流を楽 しみました。



▲マスキングテープアート「すいか」

こども未来課 宗岡地区放課後子ども教室・学童保育クラブ

体験プログラムでは、子どもたちの「やってみたい!」という気持ちを大切にしています。市民 先生の助言を受け、何かができた瞬間の子どもたちの目の輝き、笑顔はかけがえのないものです。

「いつ来ても楽しい放課後志木っ子タイ ム」を合言葉に、子どもたちの安心・安 全な居場所を提供し、志木っ子の成長 を応援していきます。

「見守りスタッフ」を募集しています。どなたでも登録が できますので、まずはお気軽にお問合せください。

2 048 (472) 1270



車いすを使っている親を 車で病院に連れていきたい

ひとり暮らしで 詐欺の電話が怖い







骨折して一時的に



迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費を補助します!

対 象 者 市内在住で、以下のいずれかに当てはまる人

- ●ひとり暮らしの65歳以上の人
- ●65歳以上の人のみで構成される世帯に属する人
- ●世帯員の就労等の理由により、1日8時間以上65歳以上の人のみになる日が週5日以上となる世帯に 属する人

補助金額 購入金額から1,000円を差し引き、上限10,000円を補助します。

※申請できるのは、購入してから3か月以内です。※補助は1回限りです。

申請方法以下の書類を窓口に直接または郵送でご提出ください。

- ①所定の申請書(本会ホームページからダウンロードできます)
- ②購入した対象機器の領収書(写)
- (3) の取扱説明書(写) //
- ④健康保険証などの本人確認書類(写)



福祉車両のレンタカー料金を補助します!

対 象 者 以下のすべてに当てはまる人

- ●市内在住の人
- ●車いすやストレッチャー等を使用しているため、他の公共交通機関の利用が困難な人及びその親族等
- 補助月額 レンタカー業者に支払った料金から1,000円を差し引いた額(上限10,000円、100円未満は切り捨て) ※燃料費、有料道路通行料、駐車場使用料、利用予約取消料などの費用は補助対象外。
- 対象車両車いすやストレッチャーのまま乗り降りができる車両
- 申請方法以下の書類を窓口に直接または郵送でご提出ください。
 - ※申請できるのは、利用した月から3か月以内です。
 - ①所定の申請書(本会ホームページからダウンロードできます)
 - ② レンタカー事業者が発行した領収書及び利用日・利用車両等の利用内容が記載された書類(写)
 - ③申請者(福祉車両を借りた人)の身分証明書(写)
 - ④利用者の身体障害者手帳または介護保険被保険者証等(写)

福祉機材の貸し出しを行っています!

対象者 市内在住の人

用 1週間以内は無料で利用できます。※貸出期間は最長6か月です。 1,000円/月でレンタルできるもの

> ●子ども用車いす ●車いす

100円/月でレンタルできるもの

●シャワーチェア ●スロープ ●ポータブルトイレ

●プレクストーク(デジタル録音図書再生機)

申請方法 直接窓口にてお申込みください。







申請窓口・問合せ

総合福祉センター1階(上宗岡1-5-1)/地域福祉担当 ☎048(474)6508







「のボランティア体験プログラム「福祉学

市内の福祉施設・ボランティア活動団体と一緒に、ボランティア体験プログラムを開催します。ボランティア 活動をしてみたい人、福祉の仕事に興味がある人、身近な場所で何か活動を始めたい人など、皆さんのご参 加をお待ちしています。

対 象 小学5年生以上(体験コースによって対象が異なります)

体験期間 8月1日(木)から8月27日(火)

申込み 受付期間: 7月8日(月)まで 8時30分から17時15分

- ①申込み希望者は、事前に「福祉学園」の説明動画をご覧ください。
- ②所定の申込書を本会窓口(総合福祉センター1階)に提出してください。
 - ※申込みは先着順になります。
 - ※プログラムの詳細は本会ホームページからご確認ください。
 - ※保育園・学童でのボランティア体験を希望する人は7月30日(火)に開催する事前説明会に 参加してください。

問合せ 地域福祉担当 ☎ 048(474)6508 ☑ vc@shiki-syakyo.or.jp

令和5年度「福祉学園」参加者・体験先からの声を一部紹介します

体験前は、全然地域の 人たちと関わることが ありませんでしたが、今回参加 して少しですが関わりが増えまし

た。今後は、今回のボランティア 体験を活かして、地域の人たちと のつながりを作りたいと改めて思 いました。



子どもたちは、ボラン ティアの方々と遊べる ことをとても喜んでいて「今日 は来ないの・・・」と残念がる姿 があちこちで見られました。 保育園での経験が、皆さんに とって意味のあるものになって

もらえるとうれしいです。





家族介護者交流事業

🏀 「自分の時間も大切に!レクリエーションでリフレッシュ」 🦠

日頃の介護を離れて楽しめるレクリエーションを通して、リフレッシュしませんか?在宅で介護している人同 士で気持ちを共有し、介護に関する情報を知ることができます。

と き 7月12日(金) 13時30分~15時

ところ 総合福祉センター 401・402会議室

対 象 市内在住で総合事業対象者・要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅で介護している家族

定 員 30人

参加費無料

申込み 7月8日(月)まで

問合せ 地域福祉担当 ☎ 048 (474) 6508 ☑ vc@shiki-syakyo.or.jp







★ 支え合い・助け合いの取り組み 🌢 🗂

志木市では、市内の5圏域(本町、柏町、館・幸町、宗岡北、宗岡南)で、地域の支え合いについて 話し合う場(生活支援体制整備事業「協議体」)を開催しています。

今回は宗岡北圏域「むねおか元気会」の取り組みを紹介します!



報

5月26日(日)

むねおか元気会「地域のつながり交流会」~あなたは誰に助けを求めますか?~

水害を想定し、日頃の備えと近所の人とのつながり、災害時の行動・助け合いについて話し合いました。 この会を通して顔見知りになるきっかけとなるよう交流を深めました。





◆「マイ・タイムライン」を

使ったグループワークの様子

マイ・タイムラインとは?

災害時、自分自身がどのように行動するかをあらかじめ整理し、 警戒レベルごとに書き込むことができます。

志木市防災危機管理課より、志木市で 作成している「マイ・タイムライン」の活用 方法、避難時の持ち物、災害情報の入手 方法などについてお話しいただきました。 まずは命を守るために居住地域関係なく 避難する意識が大事であり、日頃からスマ ートフォンなどを活用した情報収集に対し て苦手意識を持たずにトライしてみること が、防災においては命が助かる行動につな がることをお話しいただきました。

グループワークでは、日頃から孤立せず、普段から防災の話ができる人を 作っておくこと、居住地域の班長や民生委員を知ることなどの大切さについ て実感していただきました。また、自分より若い人とつながりを持ちたいといっ た声も見られました。

防災意識を持ちつつ、普段からつながりを意識することの大切さを再確認 することができた機会となりました。



地域福祉事業寄附者 ※

皆さまの真心ありがとうございました (受付順、敬称略)

寄附者(団体)	金額
志木市第二福祉センター	2,497円
志木市総合福祉センター	10,376円
立正佼成会朝霞教会	15,000円
さくらんぼ	5,000円
白川恵美ネットワークイデュース学院代表 白川恵美	50,000円
Noguchi企画 野口敏明	10,000円
匿名	3,115円

【以上の寄附は、3月5日から5月31日までのものです】



▲白川恵美ネットワークイデュース学院 白川恵美代表より寄附をいただきました。 白川様(左) 中村会長(右)

.

生活支援体制整備事業協議体より

宗岡北圏域生活支援コーディネーターの辻です。

宗岡北圏域の協議体は、介護施設・町内会長・ボランティア団 体と公園管理団体で集まり、地域の課題について話をしていま す。昨年度は1年かけて地域の防災について話し合いをしてき ました。重要なことは日頃からの隣近所とのつながりと考え、年 度をまたいでイベントを開催するに至りました。

災害時に限定せず普段から地域とのつながりは大切です。

「高齢者に限らず、住民が地域との つながりをどう作っていくか」その 仕掛けづくりを行うことが協議体の 使命と考えています。メンバーや地 域住民の貴重な意見を吸い上げ、 地域を盛り上げていけるように頑張 ります!!

